

■ 大学院 中国研究科 中国研究専攻

教育研究上の目的
大学院学則第2条（目的） 本大学に設置する大学院（以下「本大学院」という。）は、課程の目的に応じ、学理及びその応用を教授・研究し、学術の深奥を究めて、人類社会の発展に貢献しうる人材を養成するとともに文化の進展に寄与することを目的とする。
大学院学則第6条の2（研究科及び専攻） 本学が中国研究・教育分野において挙げてきた伝統とその研究成果を踏まえ、中国を対象にして社会科学・人文科学の各分野を学際的に研究しかつ総合化し、修士課程においては、高度な専門的な職業人の養成と研究能力の育成を、博士後期課程においては、修士課程での研究能力を踏まえたうえで研究者養成を目的とする。特に、修士課程のデュアルディグリー・プログラムにおいては、国際的かつ高度な専門的な職業人の養成と国際的水準に達する研究能力の育成を、博士後期課程デュアルディグリー・プログラムにおいては、国際的な水準に達した研究者の養成を目的とする。
学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）
【修士課程】 中国研究科（修士課程）では、学則第6条の2に示す人材の養成を目指します。この目標に沿って、所定の単位を修得し、以下の資質、能力及び知識を身につけた学生に「修士（中国研究）」の学位を授与します。 また、中国人民大学、南開大学及び東呉大学との間で実施されるデュアルディグリー・プログラムに基づき、日中双方の学位を取得できます。 1. 専攻分野における研究能力を有している。 2. 修士学位論文または特定の課題の研究成果において、先行研究を批判的に整理し、新たな開拓すべき研究分野であることを、十分な資料批判の上に立った資料解析と論理展開が説得的になされている。
【博士後期課程】 中国研究科（博士後期課程）では、学則第6条の2に示す人材の養成を目指します。この目標に沿って、所定の単位を修得し、以下の資質、能力及び知識を身につけた学生に「博士（中国研究）」の学位を授与します。 また、中国人民大学、南開大学及び東呉大学との間で実施されるデュアルディグリー・プログラムに基づき、日中双方の学位を取得できます。 1. 専攻分野について研究者として自立して研究活動を行う能力を有している。 2. 博士学位論文において、修士学位論文で記述した内容を展開させ、研究として一つの体系をなしている。
教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）
【修士課程】 中国研究科（修士課程）では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた資質、能力及び知識を修得させるために、以下の内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成し、実施します。 （教育内容） 1. 人文・社会両系統を総合化しうる能力を身につけかつ中華世界を総体的に理解し考察する基礎的な能力を育成するために、「中国学総論a・b」・「中国研究方法論a・b」を1年次に選択必修科目として配置する。 2. 各自の専攻分野に応じ、また、専攻分野に偏ることなく、中国研究に関して広い視野を持てるよう、都合32単位を履修するための人文・社会系統の様々な分野の科目を配置する。 3. 修士論文の作成について必要な知識や技能を修得できるように「演習」8単位を配置する。 4. 現地に赴いて研究対象の調査、客観的な情報収集を行うために「フィールドワーク方法論a・b」、「フィールドワークa・b」8単位を配置する。 5. 2年次において修士学位論文を執筆する。 6. 中国人民大学、南開大学及び東呉大学との間でデュアルディグリー・プログラム実施されており、1年間の中国留学で留学先大学の所定の科目履修及び留学先大学の指導教授からの研究指導を受け、両大学における必要な単位修得および学位論文または特定の課題の研究成果と最終試験を経ることにより、日中双方の学位を取得できる。 （教育方法） 1. 講義科目では、学生が主体的に研究に取り組むため、発表とディスカッションを活用する。 2. 演習科目では、研究指導や論文指導を行なう。論文指導は必要に応じて複数の教員によって行なう。 （学修成果の評価） 中国研究科（修士課程）では、本学における学修成果の評価方針（アセスメント・ポリシー）に基づき、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示す学修目標の達成状況を把握するため、以下の方法により、検証・評価を行います。 1. 教育課程（メゾ）での評価は、学修成果アンケート、単位取得状況、学位取得率、留年率、修士論文の成果評価割合等により行います。 2. 授業科目（ミクロ）での評価は、シラバス「成績評価の方法と基準」で明示した基準に基づいて、各科目の成績評価分布により行います。

愛知大学 3つのポリシー（2026年度以降）

【博士後期課程】 中国研究科（博士後期課程）では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた資質、能力及び知識を修得させるために、以下の内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成し、実施します。
（教育内容） 1. 専門分野に偏ることなく、中国研究に関して広い視野を持てるよう人文・社会系統の様々な分野の科目を配置する。 2. 博士論文執筆のための研究・論文指導を行う。 3. 中国人民大学、南開大学及び東呉大学との間でデュアルディグリー・プログラム実施されており、所定の留学、単位修得および学位論文と最終試験を経ることにより、日中双方の学位を取得できる。
（教育方法） 1. 講義科目では、活発な議論を通じて高度な専門性と主体性の向上に努める。 2. 演習科目では、博士学位論文作成のための基本を示す。 3. 論文指導は必要に応じて複数の教員によって行われる。
（学修成果の評価） 中国研究科（博士後期課程）では、本学における学修成果の評価方針（アセスメントポリシー）に基づき、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示す学修目標の達成状況を把握するため、以下の方法により、検証・評価を行います。 1. 教育課程（メソ）での評価は、学修成果アンケート、単位取得状況、学位取得率、留年率、博士論文の成果評価割合等により行います。 2. 授業科目（ミクロ）での評価は、シラバス「成績評価の方法と基準」で明示した基準に基づいて、各科目の成績評価分布、授業評価アンケートにより行います。
入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）
【修士課程】 中国研究科（修士課程）では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。
1. 求める学生像 本学の研究教育の基盤であり伝統でもある中国研究における人文・社会各分野の研究を総合する能力を持った高度職業人及び研究者を目指す意思と能力を持っている人。
2. 入学前までに修得すべき能力 (1) 中国文献の講読解析能力。 (2) 相当の中国語能力（中国語検定2級、または旧 HSK6 級、新 HSK5 級以上、もしくはそれと同等の語学力）。 (3) (2) に相応する英語などの外国語能力。 (4) 中華世界全体を俯瞰しうる幅広い視野と知識、その裏付けとなる問題意識と教養。 (5) 留学生に対しては、日本における膨大な中国研究の蓄積を批判的に摂取しうるだけの日本語能力（日本語能力試験 N1 レベル、もしくはそれと同等の語学力）。
3. 選抜方法 (1) 一般・外国人留学生入学試験 外国語、専門科目、口述試験及び出願書類により総合判定して合格者を決定します。 (2) 社会人特別入学試験 外国語、専門科目、口述試験及び出願書類により総合判定して合格者を決定します。 (3) 推薦入学試験 外国語及び出願書類により総合判定して合格者を決定します。
【博士後期課程】 中国研究科（博士後期課程）では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。
1. 求める学生像 本学の研究教育の基盤であり伝統でもある中国研究における人文・社会各分野の研究を総合する能力を持った高度職業人及び研究者を目指す意思と能力を持っている人。
2. 入学前までに修得すべき能力 基本的かつ広い視野を持ち、新たな研究分野を開拓し、学界の発展に寄与しうる一定の研究能力。
3. 選抜方法 外国語、口述試験及び出願書類により総合判定して合格者を決定します。